

比率の算出方法

出生率＝	$\frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在人口}^{*1}}$	× 1,000
死亡率＝	$\frac{\text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在人口}^{*1}}$	× 1,000
乳児死亡率＝	$\frac{\text{年間乳児死亡数(生後1年未満の死亡数)}}{\text{年間出生数}}$	× 1,000
新生児死亡率＝	$\frac{\text{年間新生児死亡数(生後4週未満の死亡数)}}{\text{年間出生数}}$	× 1,000
早期新生児死亡率＝	$\frac{\text{年間早期新生児死亡数(生後1週未満の死亡数)}}{\text{年間出生数}}$	× 1,000
自然増減率＝	$\frac{\text{年間自然増減数(年間出生数－年間死亡数)}}{\text{10月1日現在人口}^{*1}}$	× 1,000
死産率＝	$\frac{\text{年間死産数}}{\text{年間出産数(年間出生数＋年間死産数)}}$	× 1,000
周産期死亡率＝	$\frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出生数＋妊娠満22週以後の死産数}}$	× 1,000
婚姻率＝	$\frac{\text{年間婚姻数}}{\text{10月1日現在人口}^{*1}}$	× 1,000
離婚率＝	$\frac{\text{年間離婚数}}{\text{10月1日現在人口}^{*1}}$	× 1,000
合計特殊出生率＝	$\frac{\text{母の5歳階級別出生数} \times 5}{\text{5歳年齢階級別女性人口}^{*2}}$	(15歳から49歳までの合計)

注意

数値は表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

*1 「10月1日人口」は、仙台市広聴統計課の推計人口を用いている。(17頁「諸率の算出に用いた人口」参照)

*2 合計特殊出生率の「年齢階級別女性人口」は、10月1日現在の住民基本台帳人口(日本人人口)を用いている。